

山行報告書

日時	2020年9月26日(土)～9月27日(日)		天候	雨のち曇り時々晴れ
山名	井原山			
CL	katsu	参加者	ヒデ、HIRO、フジ、M、yuka*、少し会長	
(コース)	<p>26日(土)瑞梅寺山の家にて読図勉強会、キャンプ場へ移動(ビバーク勉強会)、バーベキュー</p> <p>27日(日)井原山キトク橋登山口→アンノ滝→水無登山道→藪→尾根→井原山頂上→尾根(藪)→林道→井原山キトク橋登山口</p>			
(コメント)	<p>今回はリーダーのフル企画に載せていただいて、バーベキューに焚火、燻製、翌日の地図読み山行と充実した山行となりました。最近ガイド本の地図や、標識を頼りに歩くことが多く、じっくりと地形図で確認して登ることの大切さを忘れていましたので、地形図とにらめっこして進行方向を確認しながらの活動は新鮮でした。藪漕ぎでも、仲間と一緒に心強いものを感じました。今回のことをきっかけにして、忘れていたことを復習したいと思います。</p> <p>HIRO</p> <p>-----</p> <p>「長らく読図をしていなく、やり方を忘れていました。登る前に地図に尾根と谷に色を付けて立体的に山をイメージする。距離に対しての時間を頭に入れて近くの目的地までの時間を把握する。地図にある植生を見極め現在地の特定をするなど大変勉強になりました。今後も定期的に読書山行をしていこうと思いました。」</p> <p>記フジ</p> <p>-----</p> <p>今回のアゼリア塾は1日目に地図読みの座学をし、2日目に実際のルートを読図をしながら歩きました。</p> <p>何度か地図読みや読図の経験はありましたが、使わないと忘れるの繰り返しです。これはロープワークでも同じことが言えると思いますが身体に染み込ませるまで取り組むのは至難の業…。</p> <p>今回このような勉強の場を作って下さった中川講師、岡崎塾長に感謝です！</p> <p>読図の他にもツェルトを張ったり、ルートファインディングで藪こぎしたり、スリングとカラビナで懸垂下降をしたりと盛り沢山の内容でした。</p> <p>夜はお楽しみの宴会BBQをテント泊で行い、しこたま食べて飲んでと充実した2日間になりました。</p> <p>このような勉強の場が増えると、共にレベルアップしていけるんじゃないかと思いました。</p> <p>yuka*</p> <p>-----</p> <p>1日目:読図(座学)の後、ツェルトを実際に使用。座学では、地図に谷と尾根を色分けする作業を行ったが、山頂から遠ざかるに従い谷なのか尾根なのか分からなくなったので、繰り返し練習を行う必要がある。その後移動し、ツェルトに包まったり、実際に設営を行った。ツェルトは所持しているものの実際に使うことはほとんどないので、良い訓練になった。ただ同時に、平地でビバークをするような状況はほぼない為、設営の仕方、ロープワークのバリエーションを増やしていく事も必要だと実感した。</p> <p>2日目:地図とコンパスを実際に使用し、読図の実践を行った。先頭を任せられた為、一気に緊張。途中、地図上の位置と現在地を誤って判断していた為、道を間違えそうになる。登山道が主だった事と人数もいたため不安感はあまりなかったが、仮に一人だった場合は間違いに気付くことはなかったと思われるため、そのまま間違った方へ進み確実に道迷い、最悪遭難していたので、よくよく考えるとゾッとす。距離感を養う事も必要だと感じた。近場の登山コースが沢山ある山で、練習を積み重ねていきたい。</p> <p>matsu</p> <p>-----</p> <p>今年はコロナの影響でアゼリア塾も予定変更を余儀なくされ近場での地図読み・テント箔となりました。前日の講習ではKatsuさんの説明を聞き忘れてた部分を思い出せていい勉強になりました。翌日の実践でも地図とコンパスで現在位置・ルートを確認し藪漕ぎしながらの山行は面白く改めて地図・コンパスでの地図読みの必要性を実感出来た講習となりました。Katsuさんありがとうございました。</p> <p>ヒデ</p> <p>-----</p> <p>今回このような機会を与えていただきありがとうございます。</p> <p>登山学校で習った知識や、自分の知っている限りの事をお伝えできればと考えて企画させていただきました。私の未熟な部分も多々ある中で皆さん真剣に、楽しく参加していただきました。コロナの影響で近場になったり直近の事故でルート変更を余儀なくされたりしましたが内容の有るアゼリア塾ができたと思います。</p> <p>katsu</p>			
費用概算	<p>(交通費/人)</p> <p>(その他/人)</p>			

